

腰椎麻酔・全身麻酔下での前立腺生検（2泊3日）を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前 @{Patient.Name} 様

主治医

日付		入院前日までに	入院日（検査前日）	検査当日		検査翌日（退院日）	退院後
				検査前	検査後		
目標・退院基準		入院の準備ができる		検査を受けられる体の状態である	刺した部位からの出血がない 尿に混じる血が少量である	刺した部位からの出血がない 尿に混じる血が少量である 問題なく尿が出ている	
検査				採血をします。			
処置				10時に浣腸をかけます。			
注射				午前中より点滴を行います。	21時に抗生剤の投与オを行います。	医師の診察後に点滴終了となります。	血尿の目安
内服薬		主治医の指示通り服薬して下さい	持参いただいた内服薬の確認をします。 抗凝固薬の内服をしている方はいつから中止しているか確認します。中止していなかった場合には検査に影響が出ますので、必ず医師か看護師にお伝えください。 医師の指示があった薬のみ内服していただきます。 寝る前に下剤を内服していただきます。	医師より指示のあった薬のみ内服していただきます。		医師の診察後より通常通りの内服となります。 抗凝固薬の内服再開についてご説明いたします。	
食事		制限はありません	制限はありません。 21時以降は絶食です。	絶食です。	絶食です。	朝食より食事再開となります。	
飲水制限		制限はありません	制限はありません。 21時以降はOS-1のみ飲むことが出来ます。	（　：　）までOS-1を飲むことが出来ます。	飲み物を飲むことは出来ません。	6時から水が飲めます。	
活動	安静度	制限はありません	制限はありません。	検査前ですので、病棟内でお過ごしください。	ベッド上で安静です。 6時間後より看護師とともに身体を動かすことが出来ます。 （動いて良いのは病室内のトイレまでです。）	制限はありません。	
	排泄	制限はありません			検査後より尿道に尿を出すための管が入ってきます。	6時に尿道の管を抜きます。	
	清潔	制限はありません	シャワーに入ってください。		シャワーに入ることは出来ません。	退院後よりシャワー浴が可能です。	
教育説明その他		38.5℃以上の発熱・腹痛・嘔気などが見られた場合、病院へご連絡下さい	看護師より病棟の説明を行います。 検査のためにご購入いただきたい物を説明します。 □テープタイプのオムツ　1枚 □OS-1　　　　　　　　　2本		痛みが強い場合には看護師までお知らせ下さい。	尿道の管を抜いた後、最初の尿を看護師で確認します。カップにとって、ナースコールして下さい。 尿が出た後、膀胱に残っている尿の量をエコーで確認します。 便が出た際には流さず、トイレからナースコールして下さい。	【退院後の生活について】 ①水分は1日1500～2000ml程度を目安に摂って下さい。 ②血尿、血便、発熱増悪時、尿が出ない時は病院に電話連絡して下さい。 ③激しい運動、バイク・自転車等の会陰部を圧迫する乗り物、長時間の自動車の運転などは次回の外来まで避けて下さい。 ④飲酒は前立腺への血流障害を起こします。次回外来まで控えて頂き医師にご相談下さい。
備考							

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。
ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。